

福岡県工業技術センター 生物食品研究所

福岡県工業技術センター生物食品研究所(生食研、福岡県久留米市、武藤行弘所長 0942-306644)は食品関連技術とバイオテクノロジーを専門とする研究機関。食品産業を試験研究で支援し、バイオベンチャー創出に大きな役割を果たす。また、がん治療や遺伝子導入試薬の開発など医療分野とのかわりが多い。

ライフサイエンスで 技術展開



遺伝子導入試薬

生食研は1995年、生物資源課機能材料課、食品課で発足した。現在は生物資源課、食品課、機能材料課、技術総合支援室で構成し、26人体制。支援室は企業や県民の相談にワンストップサービスで対応する。生物資源課は微生物の応用や遺伝子導入試薬、生理活性物質がテーマ。食品課は酵母や乳酸菌など食品用微生物の利用や食品の機能性に関する試験研究と技術指導を行っている。機能材料課は培養などに使うバイオ支援材料の開発に取り組み、生食研は基本方針として「ライフサイエンス分野における3重層技術の展開」を掲げる。重点とするのは微生物利用、細胞物利用、バイオ評価・分析の各技術。微生物利用では清酒醸造用酵母や乳酸菌、環境改善に有効なバチルス菌を扱う。細胞物利用では「バイオテクノロジーとバイオエレクトロニクスを融合し、遺伝子導入や抗体生産用細胞培養を行う。バイオ評価・分析を生かすのは農産物の機能性評価や薬剤感受性試験の分野だ。研究に使う酵母などは「生物資源ライブラリー」と名付けて分類、保存している。現在までにバチルス菌5000株、酵母3000株、乳酸菌5000株を保有。そのほかにも福岡県農業総合試験場(福岡県筑紫野市)などの協力を得て野菜など1000種類以上の食料情報を保有する。

武藤 行弘 所長 インタビュー



イノベーションを生み出す場所に

「支援先には、どのような企業がありますか。」「清酒、しょうゆ、漬物といった醸造や発酵の企業が多い。乳製品や小麦の製粉業者もいる。また遺伝子分析、製剤、試験研究用の試薬の分野。計測・分析機器に関する。最近では地域資源を生かした特産物の開発を

「一社でも多くの企業を支援する。支援企業が固定化しているところがある。新規を開発する。単独企業の開発だけでなく、業界や地域に広がるような開発を手がけた。技術継承にこれまで以上に力を入れる。生食研がイノベーションを生み出す場所になってほしい。そのためには研究開発だけでなく、人材育成や情報発信で交流の促進が必要だ。研究所員一人ひとりがコーディネーター能力を高める必要がある。」

「一社でも多くの企業を支援する。支援企業が固定化しているところがある。新規を開発する。単独企業の開発だけでなく、業界や地域に広がるような開発を手がけた。技術継承にこれまで以上に力を入れる。生食研がイノベーションを生み出す場所になってほしい。そのためには研究開発だけでなく、人材育成や情報発信で交流の促進が必要だ。研究所員一人ひとりがコーディネーター能力を高める必要がある。」

「一社でも多くの企業を支援する。支援企業が固定化しているところがある。新規を開発する。単独企業の開発だけでなく、業界や地域に広がるような開発を手がけた。技術継承にこれまで以上に力を入れる。生食研がイノベーションを生み出す場所になってほしい。そのためには研究開発だけでなく、人材育成や情報発信で交流の促進が必要だ。研究所員一人ひとりがコーディネーター能力を高める必要がある。」

「一社でも多くの企業を支援する。支援企業が固定化しているところがある。新規を開発する。単独企業の開発だけでなく、業界や地域に広がるような開発を手がけた。技術継承にこれまで以上に力を入れる。生食研がイノベーションを生み出す場所になってほしい。そのためには研究開発だけでなく、人材育成や情報発信で交流の促進が必要だ。研究所員一人ひとりがコーディネーター能力を高める必要がある。」

油脂を分解する微生物



油脂を分解する微生物

福岡県は01年、福岡県バイオ産業振興推進協議会を産学官で発足。大学などの研究機関と企業を結ぶネットワークづくりを推進した。そして久留米市を中核地域としてバイオ関連企業の集積を目指す「福岡バイオハル」プロジェクトを進めている。福岡県は01年、福岡県バイオ産業振興推進協議会を産学官で発足。大学などの研究機関と企業を結ぶネットワークづくりを推進した。そして久留米市を中核地域としてバイオ関連企業の集積を目指す「福岡バイオハル」プロジェクトを進めている。

開発した酵母で製品化



開発した酵母で造った清酒

生食研が開発した酵母を使った清酒と焼酎がある。「ふくおか酵母1号」は、さわやかな酸味のリンゴ酸を多く作る酵母。福岡県農業総合試験場が開発した「低アルコール清酒」や「スパークリング清酒」が商品化された。華やかな香りを醸し出すのが特徴の同酵母は、純米吟醸酒に使われている。

バイオ研究のニーズにお応えします
— バイオ機器製作・輸入・販売 —

ハイグレードなクリーンルームで受託培養サービス開始
GMP対応の実験室で細胞培養実験のお手伝いを。

ASTEC 株式会社 アステック
〒811-2207 福岡県糟屋郡志免町南里4-6-15 TEL 092-935-5585 FAX 092-936-6613
http://www.astec-bio.com/

ORGANO

工業用水・上下水道・排水処理・化学装置
缶内処理・冷却水処理・その他水処理薬品

オルガノ九州株式会社

〒810-0012 福岡市中央区白金1丁目4番2号
TEL 092-523-4132(代) FAX 092-523-9892
http://www.organo.co.jp/9or/index.html

電子計測器の総合会社/ISO14001・ISO9001 認証取得

QUALITY & KINDNESS

九州計測器株式会社

理化学機器分析装置・環境測定機器 等

http://www.qk-net.co.jp

お問合せは:本社福岡 Tel:092-441-3200 北九州 Tel:093-654-2220

次代を担うバイオ産業を応援します

日刊工業新聞社

技術と品質の醸造生揚一貫生産工場

福岡県醤油醸造協同組合

(取扱製品) 各種醸造生揚、加工調味料、醸造機能性素材
(ポリグルタミン酸、無塩醸造アミノ酸 他)

〒818-0014 福岡県筑紫野市大字牛島65番地
TEL 092-922-3831 FAX 092-928-3501

安心・安全な社会構築を目指して

フローコントローラー分析計・抗体チップ製造装置

矢部川電気工業株式会社

URL http://www.yabegawa.co.jp/
TEL 0944-53-7336 FAX 0944-53-7369
福岡県大牟田市津町1-1

生ごみの処理にお困りの方へ

生ごみをバイオの力で水と炭酸ガスに分解

生ごみが消える...!?

毎日生ごみだけが、入れてはなくなる。入れてはなくなる。その繰り返し...

投入前 → 投入直後 → 12時間後 → 24時間後

家庭用シンクピア

- シンク直結型
- 電気代わずかで経済的
- においが気にならない
- 作動音が静か
- 粉砕型より設置費用が安価
- 処理能力は1日1kg

業務用シンクピア

GJ-100 GJ-500

処理容量は、20kg/day~500kg/dayまで
充実したラインアップをご用意しております。

- 原則残存物は取り出し不要
- 消費電力もわずかで経済的
- 脱臭機排気ダクト不要
- コンパクトサイズ

九州統括代理店

資料の請求・お問い合わせ先

シーアールシー 092-623-2130

〒813-0062 福岡市東区松島3丁目29-18
http://www.crc-group.co.jp/

●シンクピア販売製造元 SINKPIA・JAPAN 株式会社

博多 うまいもの鍋

博多の伝統の味を、
おうちでいかがですか。

ニビシ醤油株式会社

[本社/工場] 〒811-3102 福岡県古賀市駅東3丁目2番1号
TEL 092-943-2231(代) FAX 092-943-8270 http://www.nibishi.co.jp/